

2020年12月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) 上場取引所 東証マザーズ (外国株)  
 コード番号 6697 URL www.techpoint.co.jp  
 代表者名 (役職名) 最高経営責任者兼取締役社長 (氏名) 小里 文宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 株式会社テックポイントジャパン 代表取締役社長 (氏名) 蓬田 宏樹 (TEL: 03-6205-8405)  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料の作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル(千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益		株式報酬費用控除前の 四半期純利益 (Non-GAAP 指標) (注3)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2020年12月期 第2四半期	14,609 (1,573,974)	19.8%	472 (50,853)	-	626 (67,445)	-	482 (51,931)	-	1,074 (115,713)	225.5%
2019年12月期 第2四半期	12,196 (1,313,997)	△9.8%	△365 (△39,325)	-	△326 (△35,123)	-	△283 (△30,490)	-	330 (35,554)	△70.0%

(注1) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2020年6月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル107.74円で換算された金額であります。本開示資料において以下同じ。

(注2) 四半期包括利益(損失)は2020年12月期第2四半期576千米ドル(62,058千円)(-)、2019年12月期第2四半期△283千米ドル(△30,490千円)(-)。

(注3) 2020年12月期第2四半期の6か月間の株式報酬費用は769千米ドル(82,852千円)でした。これを除いた調整後営業利益は1,241千米ドル(133,705千円)、2020年6月30日現在における2020年12月期通期の予想期間実効税率23%の税効果考慮後の調整後四半期純利益は1,074千米ドル(115,713千円)となります(Non-GAAP指標)。なお2019年12月期第2四半期においては、6か月間の株式報酬費用は684千米ドル(73,694千円)であり、これを除いた調整後営業利益は319千米ドル(34,369千円)、期間実効税率10.44%の税効果考慮後の四半期純利益は330千米ドル(35,554千円)でした(Non-GAAP指標)。なお、2019年12月期第2四半期の数値は、2019年12月期通期の実効税率を元に再計算したものです。

(単位: 米ドル(円))

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する四半 期純利益	希薄化後1株当たり当社 株主に 帰属する四半期純利益	基本的1株当たり当社株主 に帰属する株式報酬費用控 除前の四半期純利益(Non- GAAP指標)	希薄化後1株当たり当社 株主に帰属する株式報酬 費用控除前の四半期純利 益(Non-GAAP指標)
2020年12月期第2四半期	0.03 (3)	0.03 (3)	0.06 (6)	0.06 (6)
2019年12月期第2四半期	△0.02 (△2)	△0.02 (△2)	0.02 (2)	0.02 (2)

(2) 連結財政状態

(単位: %表示を除き、千米ドル(千円))

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
2020年12月期第2四半期	37,547 (4,045,314)	33,816 (3,643,336)	33,816 (3,643,336)	90.1%
2019年12月期	38,546 (4,152,946)	32,380 (3,488,621)	32,380 (3,488,621)	84.0%

## 2. 配当の状況

(単位：米ドル(円))

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正：無

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	—			
2020年12月期(予想)			—	—	—

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大が当社に与える影響は、現時点において正確に把握し難く、当社の業績予想を現時点で合理的に算定することは困難であることから、2020年5月11日の公表に引き続き、2020年12月期の連結業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	17,591,383株	2019年12月期	17,449,572株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	—株	2019年12月期	—株
③ 期中加重平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	17,529,238株	2019年12月期2Q	17,200,595株

※ 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に含まれる業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により著しく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	<b>2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
<b>2. サマリー情報（その他）に関する事項</b> .....	<b>4</b>
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更.....	4
<b>3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報</b> .....	<b>5</b>
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

2020年6月30日(連結)に終了した6か月間(以下、「当第2四半期連結累計期間」と表記)及び2019年6月30日(連結)に終了した6か月間(以下、「前年同期」と表記)の比較

#### 売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比較して2.4百万米ドル(260百万円)又は19.8%増加しました。これは主に、車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上高が2.8百万米ドル(298百万円)増加したことによるものです。なお、同製品の出荷数は117%増加していますが、他方で、製品構成の変化に伴って平均販売価格は減少しております。この売上高の増加は、監視カメラシステム市場向け半導体製品の出荷数の5%の減少に起因する、同製品の売上高の0.3百万米ドル(38百万円)の減少によって部分的に相殺されました。

当社の半導体製品の価格は半導体市場内で同じ水準を維持してきております。当社平均販売価格の動きは製品構成の変化によるもので、これは当社の製品構成が様々な価格帯にわたっているからです。高い価格帯の製品の販売数が増加又は低い価格帯の製品の販売数が減少すると平均販売価格が増加し、高い価格帯の製品の販売数が減少又は低い価格帯の製品の販売数が増加すると平均販売価格が減少します。

#### 売上原価

当第2四半期連結累計期間の売上原価は、前年同期と比較して0.6百万米ドル(64百万円)又は10.0%増加しました。この売上原価の増加は主に、半導体製品の出荷数の31%の増加が、棚卸資産評価減の減少、前期計上棚卸資産評価減の戻入の増加及び製品保証費用の減少に伴う0.5百万米ドル(51百万円)の減少によって部分的に相殺されたことによるものです。半導体製品の出荷数の増加及び製品構成の変化は、売上総利益率にプラスの影響を及ぼしました。

#### 研究開発費

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は、前年同期と比較して、0.8百万米ドル(91百万円)又は27.5%増加しました。これは主に、新製品の開発に伴うテーブルアウト費用が、0.8百万米ドル(89百万円)増加したことによるものです。

#### 販売費及び一般管理費

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、0.1百万米ドル(15百万円)又は3.9%増加しました。これは主に、事業拡大に伴う人員増による人件費の0.2百万米ドル(22百万円)の増加が、展示会費用の減少及び旅費交通費の減少によるマーケティング活動費用の0.2百万米ドル(19百万円)の減少により部分的に相殺されたことによるものです。

#### その他の収益(費用) - 純額

当第2四半期連結累計期間のその他の収益は、前年同期と比較して、0.1百万米ドル(12百万円)又は294.9%増加しました。これは主に、純金利収入の0.1百万米ドル(16百万円)の増加が、外国為替取引及び外国為替差益の変動によって部分的に相殺されたことによるものです。

#### 法人税等

当第2四半期連結累計期間の法人税費用は0.1百万米ドル(16百万円)、2019年6月30日に終了した6か月間の法人税費用の戻入は43千米ドル(5百万円)でした。これは主に、2019年6月30日に終了した6か月間は税引前四半期純損失だったのに対し、2020年6月30日に終了した6か月間の税引前四半期純利益であったこと、及び一時的な税務ベネフィットの減少に伴う実効税率の上昇によるものです。

#### 四半期純利益(損失)

前述の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの四半期純利益は0.5百万米ドル(52百万円)、前年同期の四半期純損失は0.3百万米ドル(30百万円)でした。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産

##### 流動資産

2020年6月30日現在の流動資産は28.4百万米ドル(3,059百万円)であり、2019年12月31日に対して0.5百万米ドル(53百万円)又は1.8%の増加となりました。これは主に、売却可能負債性証券が期間の経過に伴ってその他の長期資産から組替えられた事並びに新規購入に伴う2.9百万米ドル(310百万円)の短期投資の増加、及び手元又は製造過程における在庫数が製品販売数を上回ったことによる0.9百万米ドル(101百万円)の当期棚卸資産の増加が、3.0百万米ドル(321百万円)の現金及び現金同等物の減少及び0.2百万米ドル(26百万円)の前払費用及びその他の流動資産の減少によって、部分的に相殺されたことによるものです。

#### 非流動資産

2020 年 6 月 30 日現在の非流動資産は総額 9.2 百万米ドル (987 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 1.5 百万米ドル (161 百万円) 又は 14.0%の減少となりました。これは主に、長期投資の減少に伴うその他の長期資産の 1.2 百万米ドル (129 百万円) の減少、使用権資産の 0.2 百万米ドル (26 百万円) の減少、及び繰延税金資産の 0.1 百万米ドル (14 百万円) の減少によるものです。

#### 負債及び株主資本

##### 流動負債

2020 年 6 月 30 日現在の流動負債は総額 3.3 百万米ドル (355 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 2.2 百万米ドル (241 百万円) 又は 40.5%の減少となりました。これは主に、入金と出荷の時期のずれによる顧客預り金の 1.1 百万米ドル (118 百万円) の減少、費用の発生と支払い請求の時期のずれにより生じる未払費用の 0.7 百万米ドル (80 百万円) の減少、及び発注と支払いの時期のずれにより生じる買掛金の 0.3 百万米ドル (37 百万円) の減少によるものです。

##### 非流動負債

2020 年 6 月 30 日現在の非流動負債は総額 0.4 百万米ドル (47 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 0.2 百万米ドル (21 百万円) 又は 30.7%の減少となりました。これは主に、長期リース負債の減少によるものです。

##### 株主資本

2020 年 6 月 30 日現在の株主資本は総額 33.8 百万米ドル (3,643 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 1.4 百万米ドル (155 百万円) 又は 4.4%の増加となりました。これは主に、株式報酬であるストック・ユニットやストック・オプションの権利確定及び行使による資本剰余金の 0.9 百万米ドル (93 百万円) の増加、及び利益剰余金の 0.5 百万米ドル (52 百万円) の増加によるものです。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

新型コロナウイルスの感染拡大が当社に与える影響は、現時点において正確に把握し難く、当社の業績予想を現時点で合理的に算定することは困難であることから、2020 年 5 月 11 日の公表に引き続き、2020 年 12 月期の連結業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。但し、車載カメラシステム市場向け半導体製品については、2020 年 12 月期下半期 (第 3 及び第 4 四半期) において、例年同様の季節性要因による需要の増加が見込まれるほか、2020 年 12 月期上半期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) において車載機器メーカーによる新規採用案件を多数獲得していることから (過去 3 年 6 か月の間で獲得した 250 件以上の新規採用案件のうち、100 件以上を直近 6 か月である 2020 年 12 月期上半期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) に獲得しています。)、売上は増加すると予想しております。したがって、当社の 2020 年 12 月期下半期 (第 3 四半期及び第 4 四半期) の車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上高は、2020 年 12 月期上半期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) の売上高よりも増加するものと見込まれています。一方で、当社の監視カメラシステム市場向け半導体製品の 2020 年 12 月期下半期 (第 3 四半期及び第 4 四半期) の売上高は、2020 年 12 月期上半期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) の売上高よりも減少すると見込まれています。これは、主として、昨今、北米、南米、中東及びインドにおける監視カメラシステムの完成品市場が、新型コロナウイルスの影響で冷え込んでいることによります。当社の 2020 年 12 月期下半期 (第 3 四半期及び第 4 四半期) の売上高が 2020 年 12 月期上半期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) の売上高を上回るか否かを予想することは困難ですが、2020 年 12 月期の通期の純利益は維持できると予想しています。なお、上述の完成品市場の冷え込みにより、当社製品の販売先である大手完成品メーカーの北米、南米、中東及びインドにおいてのアナログカメラの販売台数が第 2 四半期以降半減しております。このような事情を背景として、当社製品の主要な販売先の一社は、第 3 四半期から第 4 四半期にかけて大規模な在庫調整を実施する予定であり、その結果、同社は、第 3 四半期においては当社に対する発注を一時的に中断する予定ですが、第 4 四半期後半より当社に対する発注を再開する見込みです。

なお、現時点で合理的に算定することは困難であるものの、現時点での状況を前提とすると、第 3 四半期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けて減少し、5.8 百万米ドル (625 百万円) から 6.2 百万米ドル (668 百万円) 程度になる可能性が高いと見込んでおります。一方で、当社は、第 4 四半期の売上高は第 3 四半期を超えると予想しております。また、新製品開発に伴い、多大な研究開発費用が引き続き第 3 四半期に計上されることが予想されます。その結果、新製品開発に伴うテープアウト費用計上のタイミング次第では、第 3 四半期の営業利益及び純利益がゼロもしくは若干の損失となることを見込まれますが、Non-GAAP 指標においては純利益を確保することが予想されます。

**2. サマリー情報 (その他) に関する事項**

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更  
該当事項はありません。なお、当社は会計基準更新書第 2018-13 号「公正価値測定 (Topic820)」を 2020 年第 1 四半期から適用しており、当該会計基準更新書の適用により四半期連結累計期間の開示事項に重要な影響はありませんでした。

3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：株式数を除き、千米ドル、千円 未監査)

	2020年6月30日現在		2019年12月31日現在	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
<b>資産</b>				
流動資産：				
現金及び現金同等物	8,414	906,524	11,391	1,227,266
短期投資	12,351	1,330,697	9,475	1,020,837
売掛金	7	754	107	11,528
棚卸資産	6,982	752,241	6,048	651,612
前払費用及びその他の流動資産	636	68,523	875	94,272
流動資産合計	28,390	3,058,739	27,896	3,005,515
有形固定資産（純額）	611	65,829	535	57,641
繰延税金資産	548	59,042	677	72,940
使用権資産	817	88,024	1,058	113,989
その他の資産	7,181	773,680	8,380	902,861
資産合計	37,547	4,045,314	38,546	4,152,946
<b>負債及び株主資本</b>				
流動負債：				
買掛金	1,188	127,995	1,535	165,381
未払費用	1,266	136,399	2,012	216,773
早期行使ストック・オプション関連債務	42	4,525	67	7,219
顧客預り金	273	29,413	1,371	147,711
リース負債	524	56,456	549	59,149
流動負債合計	3,293	354,788	5,534	596,233
その他の長期負債	438	47,190	632	68,092
負債合計	3,731	401,978	6,166	664,325
株主資本：				
優先株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2020年6月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ5,000,000株及び5,000,000株				
発行済株式数、2020年6月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ0株及び0株				
普通株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2020年6月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ75,000,000株及び75,000,000株				
発行済株式数、2020年6月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ17,591,383株及び17,449,572株				
資本剰余金	21,788	2,347,440	20,928	2,254,783
その他の包括損益累計額	79	8,511	△15	△1,616
利益剰余金	11,947	1,287,170	11,465	1,235,239
株主資本合計	33,816	3,643,336	32,380	3,488,621
負債及び株主資本合計	37,547	4,045,314	38,546	4,152,946

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2020 年 12 月期第 2 四半期決算短信

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：株式数及び1株当たり金額を除き、千米ドル、千円 未監査)

	6月30日に終了の6か月			
	2020年		2019年	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
売上高	14,609	1,573,974	12,196	1,313,997
売上原価	6,584	709,360	5,988	645,147
売上総利益	8,025	864,614	6,208	668,850
営業費用				
研究開発費	3,921	422,449	3,076	331,408
販売費及び一般管理費	3,632	391,312	3,497	376,767
営業費用合計	7,553	813,761	6,573	708,175
営業利益 (損失)	472	50,853	△365	△39,325
その他の収益 (費用) —純額	154	16,592	39	4,202
税引前四半期純利益 (損失)	626	67,445	△326	△35,123
法人税等	144	15,514	△43	△4,633
四半期純利益 (損失)	482	51,931	△283	△30,490
1株当たり四半期純利益 (損失) (米ドル (円) )				
基本的	0.03	3	△ 0.02	△2
希薄化後	0.03	3	△ 0.02	△2
1株当たり四半期純利益 (損失) を計算する際の加重平均株式数				
基本的	17,529,238		17,200,595	
希薄化後	17,869,065		17,200,595	
包括利益 (損失) :				
四半期純利益 (損失)	482	51,931	△283	△30,490
その他の包括利益				
売却可能負債性証券に係る未実現利益	94	10,127	—	—
四半期包括利益 (損失)	576	62,058	△283	△30,490



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。